

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2022年 7月 29日

(宛先)
滋賀県知事

提出者
住所(法人にあつては、主たる事務所の所在地)
滋賀県湖南市石部緑台二丁目1番1号
氏名(法人にあつては、名称および代表者の氏名)
株式会社ゴーシュー 代表取締役社長 林大輔

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、 [事業者行動計画を策定 (変更)] したので、提出します。
[事業者行動報告書を作成]

事業者の氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)	株式会社ゴーシュー 代表取締役社長 林大輔
事業者の住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)	滋賀県湖南市石部緑台二丁目1番1号

1 事業所の概要

事業所の名称	株式会社ゴーシュー					
事業所の所在地	滋賀県湖南市石部緑台二丁目1番1号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	2	5	4	※ 産業分類・細分類名称を記載 鍛工品製造業
事業の概要	鍛造による自動車部品の製造					
従業員の数	380	人	作業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロワット以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者				
	<input type="checkbox"/>	任意提出事業者				
主要な設備	ボイラ	5	台	熱源設備	28	台
	コンプレッサ	39	台	空気調和設備	220	台
				照明設備		台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	2023	年度	報告対象年度	2024	年度
	終了 年度	2026	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

1 CO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

地球環境保全が人類の最大課題と認識し、限りある資源を有効に活用することを事業活動に反映し行動する

1. 当社のすべての活動において、省エネ、省資源、リサイクル化の推進に取り組む。

- ・廃棄物の徹底した分別回収と再資源化を行う。
- ・当社の事業活動が気候変動に関連すると定義し、温暖化効果ガスの把握と削減に努める。
- ・生産の効率化、省エネ工法の採用、使用材料の削減に努め、2050年カーボンニュートラルを目標に積極的に取り組む。

2. 法規制物質の規制順守

- ・当社の製品及び使用する全ての物質において法規制を遵守し、使用禁止物質は理由の如何を問わず使用しない。

3. 環境パフォーマンスの向上

- ・受注から納品まですべてのプロセスにおいて、環境マネジメントシステムを継続的に改善する。

4. 作業環境改善活動

- ・環境汚染の予防を推進すると共に、作業環境の継続的改善を推進する。

5. 環境保護活動

- ・事業活動の一環として、生物多様性及び生態系保護の活動に取り組む。

2 取組の推進体制

別紙添付の(株)ゴーシュ「GMSマニュアル」"GMS管理に関する組織の概要と機能"による。

3 これまでに取り組んできたCO₂ネットゼロ社会づくりに係る取組

コンプレッサー更新(INV化)によるエネルギーロス削減

冷却ポンプ エネルギーロス削減

熱処理炉体からの放熱ロス削減

給湯設備の効率化によるロス削減

照明器具のLED化

バイパス材削減による使用電力削減

無水レールの導入による誘導加熱炉の効率向上

A重油、灯油などの燃料を都市ガスに変更

コージェネガス発電機安定稼働による燃料使用量削減

金型予熱の電熱カーボンヒーター化による効率上昇

金型改善(リシンク、歩留まり、延命)

製品不良の削減

IOTによる各ラインでの消費電力の可視化

Co2排出量可視化ソフトの導入

自動溶接ロボットの活用(金型再利用)

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	運用改善	コージェネ発電機安定稼働による燃料使用量削減	～2026年	都度実施
2	運用改善	金型改善(リシंक、歩留まり、延命、再利用)	～2026年	都度実施
3	設備導入	高効率機器への更新 (コンプレッサ・IH・トランス)	～2026年	24年:コンプレッサ2台 トランス1台
4	運用改善	都市ガスの使用量のリアルタイム可視化	2024年	見送り
5	設備導入	金型余熱のカーボンヒーター化によるエネルギーの削減	～2025年	2024年度 4/5 2025年 1台予定

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
<p>1.CO₂排出量重量原単位 前年度比年1%低減の改善を目標とする。</p> <p>※弊社でのエネルギー使用は誘導加熱炉が主であり、売上高ではなく、重量によって左右される為、原単位の分母を生産重量にしている。また、比較の際はCO₂排出係数は2022年度のもの(0.311kg-CO₂/kWh)を使用することで、取組効果を算出する。</p> <p>2.CO₂総排出量にて、2013年度比 2030年度53%(15344t-CO₂)削減を目標とする。</p> <p>※電気の排出係数は、各年度の調整後係数にて排出量を算出する。</p>	<p>報告年 原単位 Co2量</p> <p>2022年 0.441 18873</p> <p>2023年 0.416 19625</p> <p>2024年 0.448 17869</p> <p>2025年</p> <p>2026年</p> <p>計画した設備更新や電化、工法変更は順調に実施出来た。生産量が過去最少となった為、総排出量は目標を達成(13年度比35%削減)しましたが、生産効率は低下し原単位排出量の目標は達成出来ませんでした。</p>

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

	計画開始年度前年度の実績	実績報告					
		2023年度	2024年度	()年度	()年度	()年度	
原油換算エネルギー使用量	KL	13,354	12,738	11,548			
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	18,379	21,224	21,507			
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	18,379	21,224	21,507			
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂						
CH ₄	t-CO ₂						
N ₂ O	t-CO ₂						
HFCs	t-CO ₂						
PFCs	t-CO ₂						
SF ₆	t-CO ₂						
NF ₃	t-CO ₂						
エネルギー等原単位の推移		0.312	0.270	0.289			

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	建屋屋上にて太陽光発電機の設置検討	2026年	2026年度にて計画を見直し
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	建屋屋上にて、太陽光発電機の導入を検討。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	kW	水力・小水力	kW	地熱	kW
太陽熱	kW	バイオマス	kW	その他 ()	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績					

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh						
上記のうち自家消費量	kWh						

7 その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに資する取組

(1) 調整後排出係数に基づく温室効果ガス排出量の推移

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			2023年度	2024年度	()年度	()年度	()年度
温室効果ガス 排出量の推移	t-CO ₂	18,873	24,400	21,507			
エネルギー起源CO ₂ 【調整後排出係数】	t-CO ₂	18,873	24,400	21,507			
【調整後排出係数】	kg- CO ₂ /kWh	0.311	0.434	0.419			
特記事項							

(2) クレジット等購入

項目	単位	計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			()年度	()年度	()年度	()年度	()年度
グリーン証書の購 入	t-CO ₂						
クレジットの購入	t-CO ₂						
特記事項							

(3) 通勤や出張など人の移動および物流における脱炭素化の取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケ ジュール	
1				
2				
3				

(4) 業務で使用する車輛の脱炭素化の取組

	項目	単位	計画開始年 度前年度の 保有台数	実績報告				
				2023年度	2024年度	()年度	()年度	()年度
	保有車輛の数	台	12	13	13			
	上記のうち 次世代自動車等の 数	台	2	7	7			
特記事項								

(5) その他のCO₂ネットゼロ社会づくりに向けた取組等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組内容	実施 スケジュール	
1	ヨシ刈り活動 によるCO ₂ 回収量の算定	滋賀経済同友会主催のイベントに会員企業として参加。 新芽の成長を助け、成長したヨシが水質浄化能力の確 保。	毎年1月	未実施
2	その他	公益財団法人淡海環境保全財団主催の「ヨシ植え」のイ ベントに参加。魚や鳥のすみかであるヨシ原を守る。	毎年11月	11月にて実施
3	吸収源確保	地域主催のイベントに参加し、植樹の実施や、その苗木 の「枝打ち、蔓取り、下草刈り」を実施。木々の成長を図 る。	毎年11月	未実施
4	生物多様性	近隣小学校実施のイベントにて、生き物観察会へ「川の 水調査セット」を提供。	毎年11月	未実施
5				